

乳幼児教育の質の向上ニュースレター

5月15日 中保育所にて「第3回保幼こ小架け橋研修～保育参観～」を実施しました

今年度から「保幼小連携」を「保幼こ小架け橋」と改め、「保幼こ小の架け橋プログラム」に取り組んでいきます。

- ・保幼こ小架け橋活動（連携活動）の実施
 - ・保幼こ小架け橋期のカリキュラムの作成
(今年度は三笠小学校・橘幼稚園・うみべのもりこども園でモデル園校として実施)
 - ・保幼こ小架け橋研修への参加
 - ・架け橋活動のドキュメンテーションの作成
- 保幼こ小の架け橋プログラムのねらいは、乳幼児教育の質の向上と架け橋期の教育の質の向上にあります。

本市では、これまでから幼児教育施設類型や公立・私立・校種を越え架け橋活動の充実に取り組んでいます。今後も、架け橋活動を切り口に架け橋協力園校で一層の連携・接続をすすめ、保育・教育の充実を図っていただきますよう、よろしくお願ひいたします。

参加園/校

朝来小学校 余内小学校 池内小学校 大浦小学校 岡田小学校
倉梯小学校 倉梯第二小学校 志楽小学校 新舞鶴小学校
高野小学校 中筋小学校 中舞鶴小学校 福井小学校 三笠小学校
明倫小学校 由良川小学校 吉原小学校 与保呂小学校
やまもも保育園 中保育所 朝日幼稚園 朝来幼稚園
永福こども園 岡田こども園 さくらこども園 シオン幼稚園
昭光保育園 相愛こども園 平こども園 橘幼稚園
タンポポこども園 なかすじこども園 中舞鶴幼稚園 東山こども園
ルンビニこども園 うみべのもりこども園 舞鶴こども園
池内幼稚園 倉梯幼稚園 ひばり幼稚園

「学びを深める 学びをつなぐ 保幼こ小架け橋活動」を目指し、第3回保幼こ小架け橋研修会～保育参観～を中保育所において実施しました！

架け橋期の保育・教育の充実を図るため、園での保育内容とそのねらい、保育者の関わりを知り、保育の理解を深めるために、中保育所に4歳児・5歳児の公開保育をお世話になり、保育参観を実施しました。

- 1 4歳児・5歳児の保育参観
- 2 グループワークI
- 3 講義「学びを深める 学びをつなぐ架け橋活動」
- 4 グループワークII

「やりたい」と思ってする遊びの中で、「こうしたら〇〇になるのでは」と予想する姿や工夫する姿、何度も試す姿が見られました

【4歳児の遊びの姿】

泡を作ることが大好きな4歳児たち。泡遊びの中でも、「自分のやりたいこと」をする姿が見られました。

真っ白な強い泡を作りたいと、おろし器で石鹼を削ってボールに入れ、水の量を加減して入れ、泡だて器で手慣れた様子で混ぜて、参加者に自信をもって説明する姿が見られました。

きっと、これまで「どうしたら、じぶんのつくりたいあわができるのか」と何度も何度も石鹼や水の量を変え、試してきたのでしょうか。



色水に石鹼を入れると色の変化が見られ、繰り返し試行錯誤しながら「なんでだろう」と考える姿や、緑のテントの下と空の下で見る色の違いなどに気づく姿もありました。



泡の中に、砂を入れて混ぜて、友達の泥団子の上にかける様子が見られました。大人の発想にない砂を入れて、カフェ・オレの色にしているところに豊かな発想を感じました。



自立心

思考力の芽生え

部屋では、いろいろな食べ物を作っていました。

たくさんある材料から、自分の作りたいものにあった材料を選び、作ったジュースやお菓子をお店舗さんに並べます。

保育者の言葉がけは、4歳児クラスでも5歳児クラスでも、すぐに答えを言うのではなく、「なんでだろうねえ」「どうしたらいいかな」と問いかけてたり、一緒に考えたりする言葉がけがされていました。



【5歳児の遊びの姿】

5歳児は、園庭でリレーごっこを楽しんだり、泡遊びの中でジュースや食べ物などに見立てて作ることを楽しんだりしていました。

作ったジュースを置きに行こうとしましたが、カップに穴が空いていて、ジュースが漏れていますことに気づきます。しばらく考えて、別の容器にうまく移し入れ、白いコースターの上に置きに行きました。

お話しタイムでは、色や匂いなど五感を使って感じたことを友達に紹介しました。



「第3回保幼こ小架け橋研修～保育参観～」

お話し時間では、見てもらいたいものを見せながら、気付きや思い、考えを自分の言葉で伝えようとする姿が見られました

部屋では、マクドナルドやさんごっこでメニューがわかるものを机に立てたいと、女の子二人がガムテープを貼ったり、立てる場所を変えたりしていました。しかし、そのうちに棒に止めていたところからメニューの紙が、片方、破れてしまいました。

お話し時間では、それぞれが遊びでの気づきを話す中で、担任からその話題が出されました。

「マクドナルドやさん、先生も一緒にいたんだけど、ちょっと…。見せてあげて。直すって言ってしていたら、こんなになっちゃいました。今日何をしたか言ってあげて。」

(「ああ、やぶれたー」と繰り返し言いながら持ってくる。)

「なんでこんなことになったん?」

「(びんとしたくて) ぼうをひっぱりあって…。」

「この棒は、机の上に立ったの?」

「たったけど、ゆらゆらした。」

「机の上に立ったんだけど、この棒が、うまくまっすぐ立たなくて、壊れちゃったんだって。」

「これは、明日どうするの?まだ諦めずにやるん?」

「うん」

「この棒をまっすぐ立てて、メニューもピッとしたいんやって。何かアドバイスない?」

と、保育者が話題を広げられると、聞いていた他の子から



「こうやって、だんボール、ペタッてはったら、いけるんちゃう。」とメニューの紙をびんと張るためのアドバイスをもらいました。すると、アドバイスをもらった子は、「そうしたら、ここ(棒のところ)がやぶれるかもしねん。」と、今日破れてしまったことから心配なことを伝えます。アドバイスした子は、もう一度、

「メニューのうしろにだんボールはつたらいい。おなじおおきさにきってはつたらいい。」

と、手で示しながら詳しく伝え直しました。

最後に、アドバイスをもらった二人は、

「みんながおつたらできる。てつだってほしい。」

と、思いを伝えました。

○○ちゃんに伝えたいという思いを持ち、一生懸命に伝え合い、こども同士で対話をしていました。困っていることを素直に話す姿にも、自分事としてよく聞き、アドバイスをする姿にも、これまでから友達の話を聞いて、一緒に解決してきた自信を感じました。

～参加者の感想より～

◎4歳児さんのメイクアップ屋さんでは、お客様として遊びに誘ってくれたり、泡遊びでは泡立ての過程や気付きを話してくれたりしたので、こどもたちの工夫や気付きを直に感じることができました。その中で、4歳児では、大人が介入することで遊びが進み、その経験を積み重ねることで、お友だちとの遊びにつながっていくということを実感しました。5歳児さんの遊びは、子ども同士でやり取りしながら遊びを進める姿が見られました。振り返りでは、遊びが継続するように、「明日、次はどうすればよいかな」と投げかけられました。それが、きっかけとなり、こどもたちから意見がどんどんできました。私も、次につながる言葉掛けができるようにしていかなければと思いました。保育参観をさせていただき、明日から、また活かしていくたいと思える学びをたくさんさせていただきました。ありがとうございました。

◎こどもたちがやりたいことを実現できるよう環境が整えてあることやじっくり安心して遊べるような場、空間があることなど、とても勉強になりました。先生方も、遊びに向かうこどもたちの姿を尊重し、見守ったり思いに共感する言葉掛けをされたりしておられ、印象的でした。振り返りでは、こどもたちが自分の考えを自分なりの言葉で伝えたり、友達同士で意見を出し合う姿があり、素敵だと感じました。次の遊びへとつながっていくという意味でとても大切な場だと思うので、私も今回見させていただいたことをもとに丁寧に行っていきたいです。



言葉による伝え合い

ゆったりとした時間の中で、友達の遊びや活動での気付きをクラスで共有し、アイデアをもらったり、明日自分がしたいことに取り入れたりするなど、こども達にとって、お互いから学び、視野を広げる時間になっています。

また、お話し時間のあり方がとても自然体で、必要なところで保育者が入りながら、こども同士の対話ができるようにサポートすることの大切さを感じました。

「学びを深める 学びをつなぐ」 保幼こ小の架け橋活動の充実に向けて

架け橋活動を充実させるために、期待することの姿を明確にし、その姿を引き出すための4つの視点を意識し工夫すること、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿をいかし学びの姿を共有することを大事に取り組んでいきましょう。



学びの姿の共有 活動の工夫

- ◎子どもの興味・関心（意欲、好奇心など）
- ◎一緒に活動（つくる、対話するなど）
- ◎環境の工夫（教材）
- ◎学びを引き出す関わり（待つ、問い合わせの工夫など）

架け橋活動 育ちや学びを見取る手がかり

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」



架け橋活動 育ちや学びを見取る手がかり

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」

架け橋活動 育ちや学びを見取る手がかり

